

多文化 OPINION EXCHANGE とは？

日本国内にある外国人コミュニティの情報発信の場として開催しています。
今年、日本在住の外国にルーツを持つ方が年々に増加している中、「日本における多様性」をテーマに、イミグレーション・ミュージアム・東京主宰の岩井成昭氏の講演、「Journey to be Continued 一続きゆく旅」の上映、岩井監督と外国にルーツを持つ大学生のトークセッションを通じて、日本の多文化共生、日本における多様性の現状や将来について考えます。

スケジュール

- 13:00～ 開場・受付
13:30～13:35 開会挨拶 (一財) 自治体国際化協会
13:35～13:45 講演 明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳 氏
13:45～14:05 講演 岩井 成昭 氏
14:05～15:15 「Journey to be Continued一続きゆく旅」上映



岐阜県可児市には外国人労働者とその家族が大勢住んでいる。NPO 法人可児市国際交流協会の「さつき教室」に通う青少年たちは、「日本文化」を持たないことで地域社会に居場所を見出せず、アイデンティティの形成に支障を来すこともある。本作品は、岩井成昭監督が可児市に滞在し、美術表現を用いた独自のアプローチで外国につながる青少年との対話を試みた記録である。青少年の抱える問題のほかに、彼らをサポートする教育者や支援者たちの葛藤、そしてこれから日本が向き合うべき多様な人々との共生について、様々な問いかけが生まれていった。

- 15:15～15:30 休憩
15:30～16:30 トークセッション ファシリテーター：長谷部 美佳 氏
スピーカー：岩井 成昭 氏・外国にルーツを持つ大学生 2名
16:30～ 閉会



ファシリテーター：長谷部 美佳 氏

明治学院大学 教養教育センター 准教授。移民の移動と定住の双方に対するジェンダーの影響を研究。そこから派生する形で、移民がホスト社会に適應するうえで、ホスト社会ができること、多文化共生社会の在り方やそれに向けての市民の活動の仕方—多文化社会論やボランティア学—なども研究している。

講師：岩井 成昭 氏

1990年より国内外の特定地域の環境やコミュニティの調査をもとに、映像、音響、テキストなど、メディアにとらわれない表現で作品を発表。近年は多分化環境におけるアートの役割について、市民ワークショップを通して考察している。「イミグレーション・ミュージアム・東京」主宰。秋田公立美術大学学部長。



申込方法



Googleフォームより：<https://forms.gle/ubNeR2JzEmSrXBdq9>

メールより：tabunka@clair.or.jp

件名を「多文化Opinion Exchange申込」とし、①～④をご記入の上お申し込みください。
①お名前(ふりがな) ②所属 ③連絡先(TEL・メール) ④意見交換の際に質問したいことがあれば合わせてご記入ください。

申込締切：12月5日(木)

場所 問い合わせ先

明治学院大学 白金キャンパス
本館1101号室
東京都港区白金台1-2-37

一般財団法人自治体国際化協会(クレア)
多文化共生課 担当：ローラ
TEL: 03-5213-1725